

よ がっこうせいかつ より良い学校生活にしていくために

小学校は、各教科での学びを通して、①日常生活に必要な各般の能力 ②社会生活を営むため必要な資質・能力の基礎 ③自分の個性を発見する素地

以上3点を身に付け、養っていく場です。(文部科学省 初等中等教育の役割より)

以下の項目には、「ルール」と「マナー」が混在しています。どちらも集団生活をしていくうえで大切です。また、「宇佐美小児童が安全に、そして安心して学習に取り組むことができるように」、「一人ひとりが気持ちよく生活できる環境となるように」という視点で各項目を設けています。

ここに、決まりのすべてが網羅されているわけではありません。ここに載っていないことについては、

「皆が安全に、そして安心して学習に取り組むことができるのか」、「一人ひとりが気持ちよく生活できる環境になっているか」、「学習に必要なものか」この視点に沿って考えてほしいです。

学校・家庭・地域で共通理解を図りながらより良い学校を築いていきたいです。ご理解とご協力をお願いします。

学校生活について	理由やねらい
気持ちのよいあいさつをこころがける。	あいさつとは自分の心が開いていることを伝え、目の前にいる相手を認め、よい印象を与える行為です。あいさつができると、人間関係もスムーズになり自分の意見も言いやすくなるので、大切にしています。
名前には「～さん」をつけて呼ぶ。	呼び方一つで相手をいやな気持ちにさせることもあります。また、「さん付け」をすることで、相手を尊重する気持ちを身に付けていきましょう。
持ち物には名前を記入する。 ※上ばきなどにもしっかり名前を書く	なくしても、名前が書いてあればかえってくる可能性が高まります。また、自分のものを大事にあつかえるようにしてほしいという願いも込められています。
校内では、左胸の見える位置に名札をつける。 ※登下校の時はつけない。	他学年の児童の名前を知ることができ、たてわり活動などでコミュニケーションを取りやすくなります。
休み時間や移動教室等で教室を空けるときには机の上に物を置いておかない。	物がなくなったり、いたずらされたり壊れたりするのを未然に防ぐためです。また自分の物を管理する習慣を身に付けてほしいからです。

<p>つくえ よこ 机の横には物をかけない</p>	<p>かけてあるものに引っかかって物が壊れたり、怪我をしたりしないようにするためです。机の横に物がかかっていると、学習に集中する雰囲気を作りにくくなってしまいます。</p>
<p>とうげこう じこく まも 登下校の時刻を守る。</p>	<p>8：05までに教室に入っていないと遅刻になってしまいます。時間に間に合うように寝る時間、起きる時間、支度の時間などを調整できるようにしてほしいです。</p>
<p>ともだち ま 友達を待つときは、児童玄関で落ち着いて待つ。</p>	<p>他学年は授業をしています。また、先生の目が届かないため、けがの危険もあります。玄関には遊び道具が置いてありますが、使わずに落ち着いて待っていきましょう。</p>
<p>かてい き 家庭で決めた通学路を守り、登下校をする。できるだけ一人では帰らない。</p>	<p>いつも違う道で登下校していると、登下校中に何かがあったときに、探しにくくなってしまうため、決めた通学路を必ずつかいましょう。</p>
<p>とうこうご げこう じこく がっこう そと て 登校後、下校時刻まで学校の外へ出ない。※授業等は除く</p>	<p>あんぜんじょう じゅぎょう ひつよう わす 安全上、どうしても授業に必要なものを忘れてしまった場合は、家庭に連絡し学校に持ってきてもらうようにしましょう。 わす もの 忘れ物がないように、前日から持ち物の確認や予定帳の記入をしっかりと行っていきましょう。</p>
<p>こてい ゆうぐ うし かだん 固定遊具の後ろの花壇は、先生の許可を得て入る。</p>	<p>だんさ 段差となっており危険だからです。</p>
<p>ランドセル、ふて箱などにキーホルダー類は付けず、お守りはカバンの中にしまう。 ※防犯用品（ブザーなど）は付けてもよい。</p>	<p>キーホルダーは、学習に必要なものではないです。ぬいぐるみのような筆箱を使っている人が見られます。これらのものは、なくなってしまったり壊れたりしたときに、自分が嫌な思いをしてしまうので、持ってこないようにしましょう。</p>
<p>けいたいでんわ も 携帯電話は持ち込み禁止。</p>	<p>がくしゅう ひつよう 学習に必要なものは不要物です。伊東市の小中学校で共通のルールです。</p>
<p>ほうかご 放課後にグラウンドで遊ぶ際、出したごみは必ず家に持ち帰る。</p>	<p>うさみしょうじどう もんだい 宇佐美小児童だけの問題ではないですが、令和5年度には、かなりの量のごみが毎日グラウンドに落ちていました。今後も状況が改善されない場合は、グラウンド内での飲食を禁止することも検討しています。</p>
<p>ほうかご 放課後にグラウンドで遊ぶ際、自転車やスケートボードを使用してもよいが、グラウンドの中央を走行しない。 スケートボードの使用は、体育館～職員室前のコンクリート部分に限る。</p>	<p>グラウンドにタイヤのあとが付き、グラウンドが荒れてしまい、授業や休み時間中のケガにつながってしまいます。また、グラウンドで遊んでいる他の児童とぶつかることなく、事故やケガ無く遊んでほしいからです。</p>

服装・身なりについて	理由やねらい
<p>活動しやすい服装を心がける。</p>	<p>防犯、安全面を配慮した服装を意識することで、安全に元気よく学校生活を送ってほしいからです。</p> <p>肌の露出が多い、体勢によって下着が見えてしまう、体のサイズに適していない、手が隠れてしまう、チェーンなどの装飾品がついている等の服装は避けましょう。</p>
<p>染色やパーマなど、頭髪を加工しないことがのぞましい。</p>	<p>小学生段階で髪を加工することは、健康上のリスクがあるという意見が多いです。</p> <p>周囲の児童よりも目につきやすくなるので、学校外で事件等のトラブルに巻き込まれる可能性は増えます。色落ちや頭髪を加工することで起こり得るリスク等については、家庭でよく話し合ってください。</p>
<p>必要以上に大きな髪飾りはつけない。</p>	<p>運動時に危険でない、華美でないことを基本とします。帽子を被るのに支障が出ないようなものを選びましょう。</p>
<p>手首や足首にゴム紐やミサンガ、アクセサリ類をつけない。</p>	<p>活動中にもものに引っかかってしまう恐れがあります。また、これらは学習に必要なものではないものです。宗教上等の理由で着用する必要のある場合はご連絡ください。</p>
<p>登下校時は必ず帽子をかぶる。</p> <p>(1, 2年は黄色い帽子。3～6年は黄色帽子、自由帽子の中から選択)</p> <p>自由帽子は①耳が隠れない②視界が遮られない③ツバのあるもの④華美でないもの</p>	<p>1, 2年生は安全面を考慮して黄色い帽子を着用します。3～6年は、黄色い帽子に頼らずとも交通ルールを意識してほしいです。それ以外に、熱中症対策やけがの防止のために帽子を着用します。デザイン性でなく、機能性で選択してほしいです。</p>
<p>手袋・マフラー等の防寒具やネッククーラー等の防暑品は、持ってきてもよいが、玄関で着脱をする。(登下校時、ポケットに手を入れない。)</p> <p>※室内で着ない上着(ベンチコートなど)は着ない。</p>	<p>校内でそれらの道具を用いてふざけたり紛失したりしないように玄関で着脱します。校内はエアコン等によって温度の調節はできており、対策品を使用しなくても問題ない環境となっています。</p>
<p>ハンドクリーム、リップクリーム等は、保護者が担任に連絡をしてから使用する。</p>	<p>「学習に必要なもの」は不要物です。しかし、手荒れ等、健康上で必要とする児童については学校へご連絡ください。</p>

学習環境について	理由やねらい
①授業前、黒板をきれいに消す。	学習環境を整えるためです。
②忘れ物があったときは、授業が始まる前までに先生に報告する。	学習時間を保証するためです。また、対処方法を身に付けるためにも必要だと考えています。
③授業の開始と終了時刻を守り、挨拶をする。	学習規律を整えるためです。休み時間との切り替えにも必要です。
④机上の教科書・ノート・筆箱について置く位置が決まっている。	学習環境を整えるためです。
<p>⑤筆箱の中身が決まっている。</p> <p>鉛筆6本（1年生は5本でもよい）※キャップはチャック式の筆箱のみ使用可</p> <p>消しゴム1個 15cm線引き（折りたたみでないもの）</p> <p>赤青鉛筆1本 ネームペン1本 ※鉛筆削りは持ってこない。</p> <p>3年生以上 色ボールペン可 5年生以上 蛍光ペン利用可</p> <p>※シャープペンは使用しない。ただし、自然教室、修学旅行等の行事の際は、使用してもよいこととする。※鉛筆削りは持ってこない。</p>	<p>学習に必要なものを揃える習慣を身につけるためです。自分の持ち物をきちんと管理できるようにしたいと思います。</p> <p>また、華美なものを持ってきてしまうと、落として壊したり、なくしたりして、嫌な思いをしてしまいます。</p>
⑥授業中に席を離れたいときは、先生に言うこと。	安全のためです。所在確認にもつながります。

学校外の生活について（市内小学校共通の決まり）

不審な人に声をかけられたり、危険を感じたりしたときは、大声で助けを求め、近くの家や「パンダの家」にかけこむ。寂しい場所や暗い場所になるべく行かないようにする。

出かけるときは、「だれと」「どこへ」「何をしに行く」「何時に帰る」を必ず家の人に伝える

11月～1月は16：30までに、2月～10月は17：00までに家に帰っているようにする。

子どもだけで友だちの家に泊まったりしない。また、保護者の承諾を得ないで学区外に行かない。

交通ルールを守り、事故にあわないように気をつける。特に自転車に乗るときは、ヘルメットの着用に努め、左側通行を守り、無灯火や二人乗りはしない。

道路や人混みの中など、禁止されている場所や危険な場所では、キックボードやスケートボードなどをしない。

ゲームコーナー、カラオケボックス、ボウリング場などへは、子どもだけで入らない。

人や物を傷つける恐れのあるような危険なおもちゃは使わない（エアガン等）。また、踏切や線路の近く、消波ブロックで遊ぶなど、危険なことは絶対にしない。

絶対にマッチやライターなどを持ち歩いたり、たき火などの火遊びをしたりしない。

友だち同士でお金の貸し借りをしたり、物やカードの交換をしたりしない。

公共施設（学校、幼稚園、公園、コミセンなど）やお店の使い方を守り、管理している人や利用している人たちに迷惑をかけないようにする。

用事がないのにスーパーやコンビニエンスストア、ショッピングセンターなどに入出入りしない。

携帯電話（スマホ）やSNS、携帯ゲーム機などは、安全に正しく使い、個人情報 の流出 に注意する。

自分で出したごみは家に持ち帰るか、ごみ箱にしっかり捨てる。